
平成 30 年 北海道建築士会 まちづくり委員会（第 1 回）議事録

開催日時：平成 30 年 2 月 24 日（土） 13：00～15：00

開催場所：大通公園ビル 9 階会議室（札幌市中央区大通西 6 丁目）

出席者：＜委員長＞針ヶ谷 拓己（札幌）

＜副委員長＞清水 浩史（札幌）、山田 直登（空知）

＜委員＞石塚 尚也（恵庭）、北野 学（名寄）、高橋 真美（北見）

＜事務局＞秋吉次長

＜協議事項＞

1. 平成 29 年事業報告及び平成 30 年事業計画について（針ヶ谷）【13：00～13：10】

（1）事業方針（30 年）

「まちづくり活動の推進、アピール……。そして建築士（会）のブランド力アップ」

①まちづくり活動に興味のある会員、行政や民間会社でまちづくりに関わっている方々による「まちづくり活動サポーター」組織を構築して、まちづくり活動の輪を広げ、全道各支部のまちづくり活動を活発化させたい

②“地域社会や生活者”“行政”から、「いいね」と感じていただけるような、まちづくり活動（地域貢献）を行い、その活動を広く社会へアピールすることにより、建築士（会）のブランド力アップに貢献する

（2）まちづくり委員会の概要（年間スケジュール）

（3）平成 29 年事業報告・決算

○別紙にて説明

（4）平成 30 年事業計画・予算

○別紙にて説明

・委員会等の日程

1 月 27 日（土） 小会議（事業計画について）

2 月 24 日（土） 第 1 回委員会（事業計画、フォーラム・全道大会の企画検討）

5 月 26 日（土） WEB 会議－1（フォーラムの企画確定、全道大会の企画検討）

9 月 1 日（土） WEB 会議－2（全道大会の企画確定）

10 月 20 日（土） 第 2 回委員会（次年度事業計画及び予算について）

・事業の日程

2 月 24 日（土） 北海道建築士会まちづくり会議

7 月 7 日（土） まちづくりフォーラム in 釧路

10 月 6 日（土） 全道大会土別大会分科会

10 月 20 日（土） 景観まちづくり塾（東西アスファルト事業協同組合の協賛や北海道から委託あれば）

2. まちづくりフォーラムについて（清水）【13：10～13：30】

- 担当 ◎清水、石塚、高橋、山田
- 日時 平成30年7月7日(土) 13:00~17:30
- 場所 釧路市生涯学習センターまなぼっと(学習室)
- 共催 本部まちづくり委員会、釧路支部、釧路夕焼け倶楽部、クスロを想定
- 協力 釧路市、釧路総合振興局、釧路高専、釧路工業高校、クスロ、くしろ橋南西ゆめこい倶楽部、くしろ元町青年団、まちづくり釧路など
- 参加者 釧路市民、学生、各支部のまちづくり委員・まちづくり活動をされている方、本部まちづくり委員
- 内容 平成23年に釧路総合振興局と釧路市の共催により景観まちづくりワークショップが開催され、北海道建築士会釧路支部も参加している。このワークショップでは、このまちのいいところと気になるところを抽出し、市民それぞれが何をすべきか議論が行われた。それから5年経過し、中心部の空洞化が進行する一方で、再開発や施設整備など、新たな動きが出てきている。また、様々な市民活動も動いてきており、景観を観光資源としてまちづくりに活かそうという動きが定着してきている。
- 今回のまちづくりフォーラムでは、こうした現状を改めて再確認するとともに、行政、企業、市民がそれぞれの立場で何をしていくべきか、何ができるのかを考え、具体的な提案につなげる機会としたい。また、そこに建築士としてどういう形で寄与できるのか提案し、建築士会の役割を市民の方々に知ってもらいたい。
- 13:00 開会あいさつ(5min)
- 13:05 平成29年まちづくりフォーラムの報告(10min)
- 13:15 趣旨説明(10min)
- 13:25 事例紹介(30min)
- まちづくり釧路、北海道建築士会釧路支部、クスロ、釧路夕焼け倶楽部
- 13:55 講演 釧路高専 千葉教授(30min)
- 企業、行政、市民団体が連携していかによりまちづくり活動を具体化していくか。地域の魅力の活かし方
- 14:25 まちあるき(60min)
- 北大通、釧路川河畔
- 15:25 ワークショップ(90min)
- 釧路の魅力と活かし方、私たちができることなど
- 16:55 発表(30min)
- 17:25 閉会

<意見>

- ・前回行われたワークショップでは目標設定もなく、何となく終わっている。そのため次につながっていない。今回は今後につながるよう、目標設定やスケジュールまで考えたい。今後、まちづくりについての話し合いが定期的に行われるのが理想
- ・各団体がバラバラにまちづくり活動している。ゆるやかに繋がっていけば良い

が、そこを建築士会でできないか（接着剂的な役目）

- ・ただ、釧路では各団体の活動をつなげることは難しいようだ
- ・建築士が即興で具体的にプランニングや提案（空き家利活用）を行うと、一般参加者（市民）の人はすごいと思ってくれた（全道大会後志大会C分科会）
- ・釧路市の助成も想定している。6月末に採択となるので、7月7日開催としている
- ・ワークショップのファシリテーターはクスロの方
- ・建築士（会）をアピールできる場が少ない。まちの空き店舗などを見て、利活用提案を考えることができると良いかもしれない

○スケジュール

- ・CPD申請（5/20）（秋吉）
- ・釧路支部、他団体との調整（清水）
- ・フライヤー（5/上）（石塚）
- ・開催案内（5/上）（針ヶ谷）
- ・講師依頼等（5/上）（清水）
- ・座席レイアウト（6/中旬）、出席者名簿（6/中旬）（高橋、針ヶ谷）
- ・当日用アンケートの作成（6/下）（清水）
- ・懇親会企画（6/下）（山田）
- ・新聞社等への案内（秋吉）

※4月に入ってから釧路へ一度打合せに行く予定になりそう

3. 高校生建築デザインコンクールについて（針ヶ谷）【13：30～13：35】

○担当 ◎針ヶ谷

○日時 運営委員会6月、選定委員会9月

○内容 道内の建築系学科が設置されている工業高校に在籍する生徒の皆さんから、道の整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するもので、北海道・日本建築家協会北海道支部・北海道建築士事務所協会・北海道建築士会の共催によって開催される。

まちづくり委員会としては、6月の運営委員会、9月の選定委員会へ委員を派遣する。

※詳細は別紙による

4. 高校生「建築甲子園」について（針ヶ谷）【13：35～13：50】

○担当 ◎針ヶ谷

○日時 応募締切10月末

○内容 将来の日本の建築を担う建築教育課程のある工業高校及び高等学校の生徒を対象に、研究創作活動に対するコンペ「建築甲子園」を実施する（締切10月末）。研究創作活動の例として、実習活動、建築の設計、インテリア、家具の設計製作、都市その計画とアイデア等がある。主催は日本建築士会連合会・都道府県建築士会、後援は

全国工業高等学校長協議会・国土交通省である。表彰時に高校へ訪問するなど、道士会として積極的に関わる。

○実施・応募要項案（連合会作成）の確認

上記案が本部事務局より確認依頼があったので、各委員に10分間見ていただき、それぞれから意見を伺った。

<意見>

- ・冒頭1ページの文面、若い高校生にうまく伝わり、響くのが心配
- ・冒頭の内容（スケール大きい）にくらべ、応募要項の内容は具体的すぎてギャップを感じる（スケールがかなり小さく、高校生の想像力を妨げてしまいそう）
- ・リノベーションという言葉の使い方について、冒頭はスケールが大きく夢のある使い方に対し、応募要項ではリフォームに近い言葉になってしまっている
- ・審査の流れについて、ベスト8を選出する1次審査はどのように行われるのですか？
- ・誤字等はチェックされると思いますが、気づいた部分
 - (1) 1ページ本文13行目 お手もの→お手のもの
 - (2) 2ページ 3-2 添付資料 CD-ROM→CD-R 等

5. 景観整備機構について（針ヶ谷）【13：50～13：55】

○担当 ◎針ヶ谷、清水

○背景 高度経済成長期以降、美しいまちなみを軽視した建造物が建てられ、まちなみや自然景観から調和や地域の特色がどんどん失われてきた。そんな中、2003年に国土交通省が「美しい国づくり政策大綱」を策定したことを受け、2004年には景観法が制定された。これにより法の下で景観への取り組みが大手を振ってできるようになった。

一方、北海道においては、2001年から北海道ならではの「北海道の美しい景観のくにつくり条例」が進められてきたが、景観法が制定された後、2008年に「北海道景観条例」に改定され現在に至っている。現在、北海道内で景観計画が策定できる「景観行政団体」は、北海道のほか、札幌市・旭川市・函館市・小樽市・釧路市・北見市・当別町・黒松内町・長沼町・東川町・美瑛町・清里町・平取町・上富良野町・栗山町・東神楽町である。

景観整備機構とは、景観法に基づき、良好な景観の形成に関する業務を行うことのできる団体であり、北海道建築士会は、平成27年3月26日、北海道（景観行政団体）から景観整備機構に指定された。なお北海道建築士会では、景観整備機構として、景観法第93条のうち下記の業を行うこととしている。

- (1) 第1号 良好な景観の形成に関する事業を行う者に対し、当該事業に関する知識を有する者の派遣、情報の提供、相談その他の援助を行うこと。
- (2) 第6号 良好な景観の形成に関する調査研究を行うこと。
- (3) 第7号 前各号に掲げるもののほか、良好な景観の形成を促進するために

必要な業務を行うこと。

○活動内容

① 北海道景観整備機構の運営

北海道にて 30 年度の予算が付けば、委託業務の依頼があるかもしれない（景観重要建造物の指定に向けて、各支部に協力いただくことも想定される）

② 他景観行政団体への指定申請

【札幌市】

2月23日（金）景観整備機構の指定に向けて札幌市へ打合せに伺った。次回理事会へ景観整備機構指定申請についてお諮りする予定。

【中標津町】

中標津町の景観計画策定に関わるNPO法人景観ネットワークさんが、景観整備機構についての情報収集のため、一昨年、道士会へ訪問された。景観整備機構をどの団体にすべきか検討中とのこと。

③ 景観まちづくり塾の開催（委託や協賛があれば実施）

一般市民に景観まちづくりや魅力的な景観資源を守り育てていくことに興味をもっていただくきっかけとなることを目的にするとともに、これからの景観まちづくりのリーダーとなる人材（建築士）への景観教育も目的とする。また、この事業を通して行政との連携も深めていきたい。

6. 全道大会（士別大会）分科会について（針ヶ谷）【13：55～14：05】

○担当 ◎北野、石塚、杉島、山田

○日時 平成30年10月6日（土）

○場所 士別市民文化センター（懇親会：士別グランドホテル）

○大会テーマ 「未来へつなぐ 天塩の流れ 人と大地の躍動」

～水とみどりの里で 未来を語ろう 北の建築士！～

○内容 未定

○スケジュール

・企画書、予算書作成（4/下）

7. 連合会まちづくり委員会について（針ヶ谷）【14：05～14：15】

① 連合会まちづくり委員会 年3回

② まちづくり会議・全国まちづくり委員長会議（清水）

・開催日 平成30年2月16日（金）・17日（土）

・開催場所 笹川記念館4階 第4・5会議室（飛龍の間）

東京都港区三田 3-12-12 TEL. 03-3454-5062

・参集規模 47都道府県まちづくり委員長、オブザーバー 100人程度

・内容 昨年度、連合会まちづくり委員会の所管である「防災」「景観」「歴史」「街中（空き家）部会」「福祉」の5部会の活動が始動した。

特化したテーマを掘り下げる各部会でのまちづくり活動の活発化の現れとして、いくつかのブロックでのまちづくり塾（セミナー）も再びの立ち上がり、一方では、建築士により深くテーマ性を追求した酒蔵などをまちづくりの核とする活動も発芽してきている。

今回のまちづくり会議と委員長会議は、参加者相互で議論・検討し、これらのまちづくり活動の現状を把握し、これからのまちづくり（活動）の展開を考えてみたい。

③ 全国大会セッション

- ・開催日 平成30年10月26日(金)
- ・開催場所 大宮ソニックシティ（さいたま市）
- ・大会テーマ 「歴史に感謝 未来に約束」
～今 埼玉に集う 彩り豊かな暮らしの創造～
- ・参集規模 未定
- ・内容 未定

8. 北海道建築士会まちづくり会議について（針ヶ谷）【14：15～14：50】

○担当 ◎清水、山田、石塚、針ヶ谷

○日時 平成30年2月24日（土）16：00～18：30

○場所 大通公園ビル（通称 ヤクルトビル）

札幌市中央区大通西6丁目

○参加者 まちづくり部会関係者、行政職員やまちづくりに興味のある会員など

○内容 （公社）日本建築士会連合会では昨年、まちづくり活動の質の向上を目指し、防災／歴史／景観／街中（空き家）／福祉という5つのまちづくり部会が発足した。こうした中、北海道建築士会としても、この5つの分野を意識したまちづくり活動を進めていきたい。

初開催となる、（一社）北海道建築士会まちづくり会議は、北海道における上記まちづくり分野の活動をより充実させていくため、各分野における取組状況や課題などについて、建築士会と行政等が情報共有を図るとともに、これからのまちづくり（部会）活動をどのように進めるべきか、公開ディスカッションやグループ討議を行うこととする。

16：00～16：06（06min） 開会・あいさつ

16：06～16：15（09min） 連合会まちづくり会議報告

16：15～18：05（110min） 公開ディスカッション

（行政報告10min、士会部会報告7min、質疑応答5min）

①防災まちづくり（22min）

②歴史まちづくり（22min）

③景観まちづくり（22min）

④街中（空き家）まちづくり（22min）

⑤福祉まちづくり（22min）

ー シアター席から隣室グループ席へ移動 ー

18：10～18：25（15min） 防災・歴史・景観・街中・福祉にてグループ討議

①行政と建築士会の連携方法は？

②どのような活動をしていくべき？

18：25～18：30（05min） まとめ、閉会

18：30～18：45（15min） 片付け

19：00～21：00（120min） 懇親会

○スケジュール

【当日】

総合司会（石塚）、公開ディスカッション・グループ討議進行（山田）、受付（秋吉・高橋）、パネリスト（針ヶ谷・清水）、撮影係（高橋・石塚）、会場設営・照明・タイムキーパー（北野）、パソコン設営・操作（高橋）、懇親会進行（山田）

【まとめ】

報告書作成（3/上：針ヶ谷）、会誌原稿作成（3/上：針ヶ谷）

<意見>

- ・会場レイアウトは、シアター席とグループ席の2室とした
- ・分野ごとに、行政報告・部会委員報告・質疑応答を完結させる
- ・会議の最後には活動目標を立てるべき
- ・来年のまちづくり会議では各部会活動を報告する
- ・懇親会は特に余興は行わない

《連絡・報告事項》【14：50～15：00】

1. 建築甲子園について

北海道にて選抜された札幌工業高校は奨励賞（賞金1万円）に終わる。表彰は、会長又は道央ブロック統括理事（札幌支部長）が高校へ訪問し行われる予定。

今年の課題についての内容確認

2. 会誌「北海道建築士」の原稿について

4月号「北海道建築士会 まちづくり会議」は針ヶ谷にて寄稿。

4月号以降は、委員のみなさんにも寄稿をお願いします。

3. 連合会等からの情報

- ・国交省の「空き家対策の担い手強化。連携モデル事業募集について、連合会まちづくり部会で応募を検討
- ・建築基準制度のあり方（第3答申）「既存建築ストックの有効活用、木造建築を巡る多様なニーズへの対応並びに建築物・市街地の安全性及び良好な市街地環境の確保の総合的推進に向けて」について（概要ペーパー）